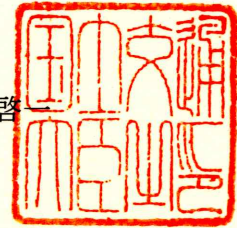


認 定 書

国 住 指 第 1402 号
令 和 元 年 9 月 9 日

シーシーアイ株式会社
代表取締役社長 岡部 鉄也 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-1069
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／熱膨張材・合成ゴム系発泡体／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

別 添

1. 構造名：

被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／熱膨張材・合成ゴム系発泡体／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表 1 に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形 (ϕ 158mm以下)
	面積	0.0196m ² 以下
占積率 (開口面積に対する被覆材付配管の断面積の総合計の割合)		85.8%以下
被覆材付配管と床との隙間の寸法 (クリアランス)		5～16mm
貫通する床の構造等		鉄筋コンクリート造 厚さ 75mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表 2 に、配管の仕様を表 3 に示す。

表 2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様	
被覆材		材料	無機質混入樹脂シート・ウレタンフォーム積層材
		使用箇所	直管及び管継手の外層被覆材
		処理方法	床上及び床下から300mm以上被覆
	表面材	材料	種類：①又は② ①ポリエステル系樹脂(ポリエチレンテレフタレート等) ②ポリ塩化ビニル系樹脂
		厚さ	非公開
	樹脂シート	材料	種類：①又は② ①無機質混入オレフィン系樹脂 (表面材は①又は②) ②無機質混入ポリ塩化ビニル系樹脂(表面材は①又は②)
		組成 (質量%)	非公開
		厚さ	非公開
		密度	
	基材	材料	ウレタンフォーム
		厚さ	非公開
		密度	

つづく

つづき

貫通部材	保護テープ		材料	非公開
			厚さ	
			寸法	
	保持部材		材料	鋼板
			厚さ	非公開
			寸法	
	熱膨張材	本体	材料	非公開
			質量	
			組成 (質量%)	
		上部内側 (包装材)	材料	
			厚さ	
			寸法	
		下部外側 (包装材)	材料	
			厚さ	
			寸法	
	支持部材		材料	鋼板
			厚さ	非公開
寸法				
数量				
目地材		材料	非公開	
		寸法		

表 3 配管の仕様

項 目		仕 様	
配管	直管 (立て管・ 横枝管)	材料	硬質塩化ビニル管(JIS K 6741)(記号：VU)
		外径	φ114mm以下(記号：VU)
		厚さ	3.5mm以下(記号：VU)
	管継手	材料	あり又はなし 屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手 (AS 38)(記号：VUDV)
		受口外径	φ124mm以下(記号：VUDV)
		厚さ	4.6mm以下(記号：VUDV)

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項 目		仕 様	
ジョイントテープ	材料	オレフィン樹脂フィルム(ゴム系粘着剤付)	
	組成 (質量%)	非公開	
	寸法		

5. 構造説明図：
構造説明図を図1～図4に示す。

単位 mm

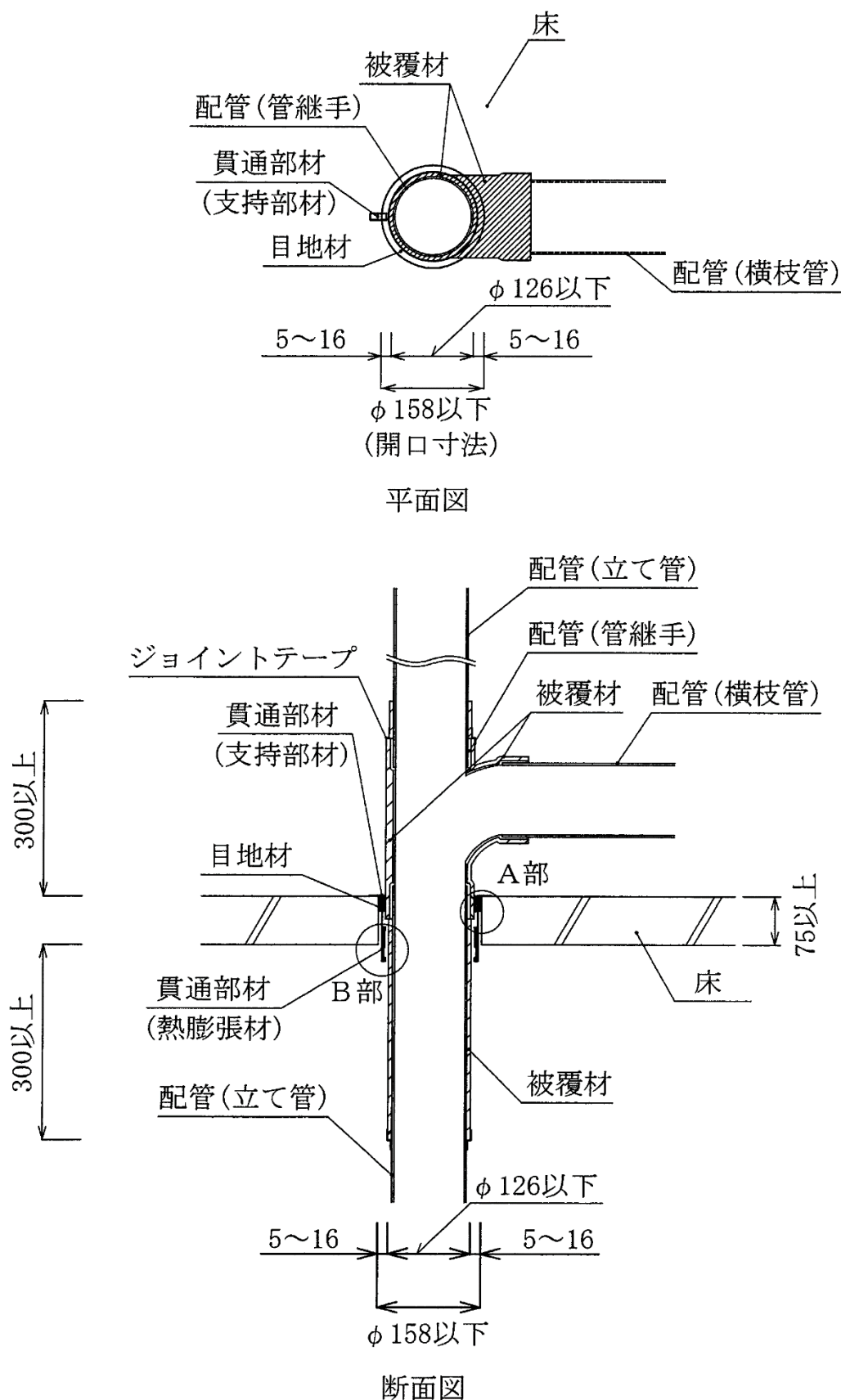


図1 構造説明図(施工図)

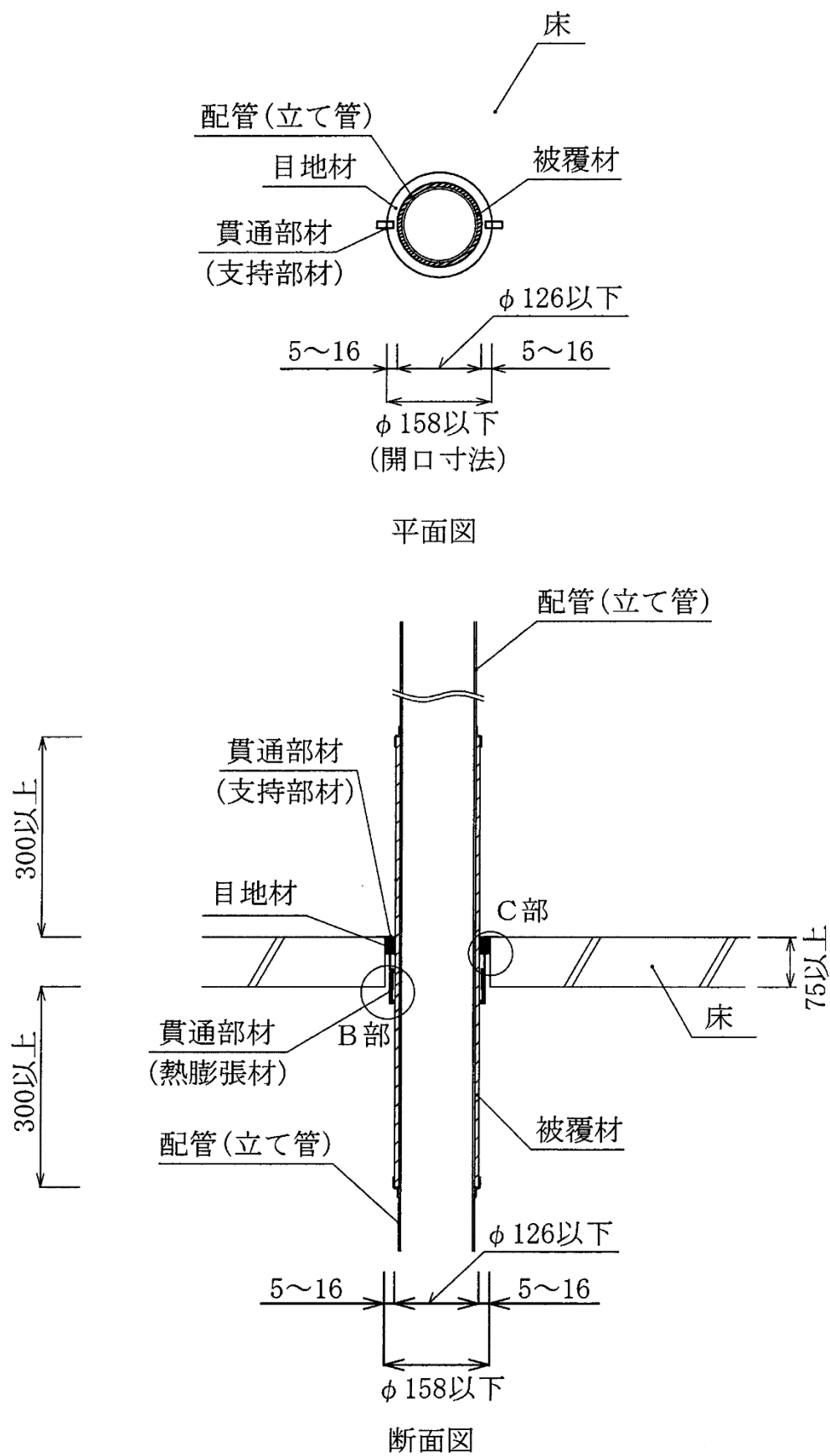
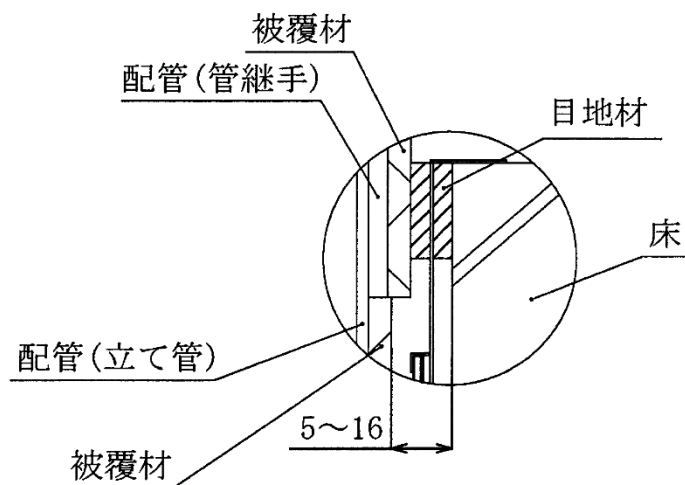
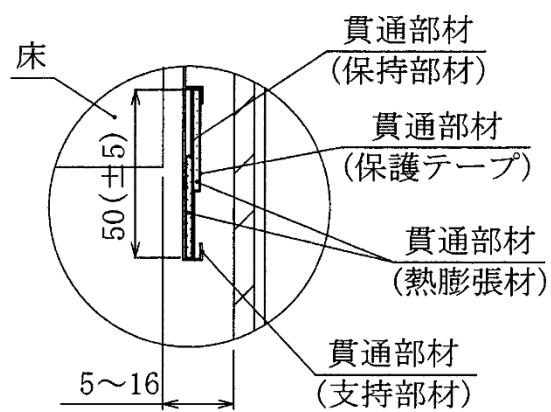


図2 構造説明図(施工図)

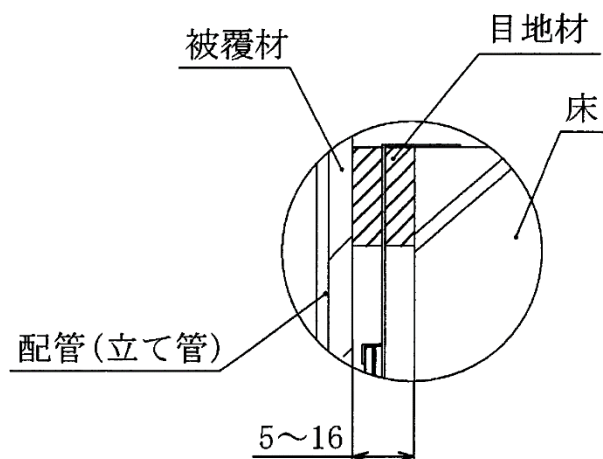
単位 mm



A部詳細図



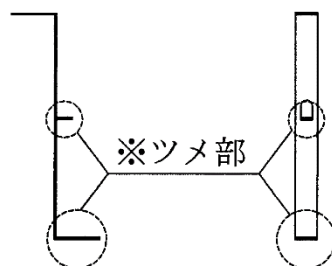
B部詳細図



C部詳細図

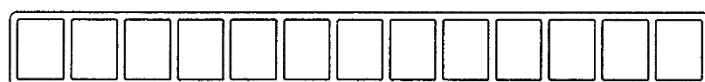
図3 構造説明図(施工図)

単位 mm



※ツメ部を折り曲げてB部詳細図(図3)に示すように他の部分
(熱膨張材・保護テープ・保持部材)を開口部内に固定する

支持部材



保持部材

貫通部材を構成する部品の詳細図：支持部材及び保持部材

図4 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 直管に施工する方法

- ①被覆材付配管の設置を行い、支持・固定する。
その際、防音排水管の被覆材長さは、床の上下面から 300mm 以上であることを確認する。
- ②床上側の被覆材の端部はジョイントテープで 1 周以上覆う。
- ③貫通部材を被覆材付配管に巻き付け、床内部に挿入する。
- ④開口部と被覆材付配管の隙間に目地材を入れる。

(2) 管継手に施工する方法

- ①被覆材付配管(床下)の設置を行い、支持・固定する。
その際、被覆材付配管(床下)の被覆材長さは、床の下面から 300mm 以上であることを確認する。
- ②貫通部材を被覆材付配管(床下)に巻き付け、床内部に挿入する。
- ③被覆材付管継手を、床内部に挿入する。
その際、被覆材付配管(床上)の被覆材長さは、床の上面から 300mm 以上であることを確認する。
- ④開口部と被覆材付管継手の隙間に目地材を入れる。